

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●武豊騎手が史上初のJRA通算2万3000回騎乗を達成

8月7日(土)の1回函館11日・第3レースでミニマリズムに騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で中央競馬史上初となるJRA通算2万3000回騎乗を達成しました。

●柴田善臣騎手がJRA最年長重賞勝利を達成

8月8日(祝・日)の3回新潟6日・第11レースとして行われたレパードS(GⅢ)では、55歳0か月10日の柴田善臣騎手(美浦・フリー)騎乗のメイショウムラクモが勝利しました。これは2002年ステイヤーズS(GⅡ)で岡部幸雄元騎手が記録した54歳0か月31日を更新する、JRA最年長重賞勝利となります。

●清水久詞調教師がJRA通算300勝を達成

8月7日(土)の3回新潟5日・第1レースではロードリライアブルが1着となり、同馬を管理する清水久詞調教師(栗東)は、現役66人目となるJRA通算300勝(延べ3824頭目)を達成しました。

●函館競馬リーディングジョッキーは横山武史騎手

8月8日(祝・日)をもって今年の函館競馬は終了し、15勝をあげた横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、2年連続・通算2回目となる函館競馬リーディングジョッキーに輝きました。

●2021年上半年JPNサラブレッドランキング発表

今年上半年(1月1日から7月31日)の『JPNサラブレッドランキング』が発表されました(暫定レーティング/単位はポンド)。3歳のトップには皐月賞馬エフフォーリアと日本ダービー馬シャフリヤールが並び(120)、3歳牝馬は桜花賞馬ソダシ(115)、3歳ダートはジャパンダートダービーを勝った船橋所属のキャスルトップ(109)が首位。4歳以上のトップはヴィクトリアマイルを勝ったグランアレグリア(121)、4歳以上ダートの首位にはドバイワールドカップ2着のチュウワウィザードと帝王賞勝ち馬テオーケインズが並んでいます(116)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●リュウノユキナがクラスターC(盛岡)で2度目のJpnⅢ制覇

クラスターC(JpnⅢ、8月9日、盛岡、1200m)は、6番手から差を詰めたリュウノユキナ(柴田善臣騎手、牡6歳、父ヴァーミリアン)が、先に抜け出したサイクロトロンを残り200mを切った辺りで捉えて3馬身引き離し、1番人気に応えました。2番人気のヒロシゲゴールドが3着、ジャスティンが4着、3番人気の昨年の覇者マテラスカイが5着に入り、5頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●ブリーダーズゴールドC(門別)は人気のマルシュロレーヌ

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月12日、門別、2000m)は、3番手を進んだ単勝1.5倍で断然人気のマルシュロレーヌ(川田将雅騎手、牝5歳、父オルフェーヴル)が、逃げ粘るリネンファッションとの競り合いを半馬身差で制して4度目の重賞勝ち。3番人気のアッシュンブッテルが3着、2番人気のメモリーコウが4着と、こちらもJRA勢同士の決着となっています。なお、レースブランシュは前日以降に治療を行ったことから、公正保持のため競走除外となりました。

●霧島賞(佐賀)はJRAの鹿児島産馬ティエムチューハイ

九州産馬限定の霧島賞(3歳以上、8月11日、佐賀、1400m、JRA所属馬は2勝クラス)は、中団から追いつけた2番人気のティエムチューハイ(石川慎将騎手=佐賀、牡7歳、父ブラックタイド)が4コーナーで抜け出して優勝しました。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド高知の結果

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド高知は8月9日に実施され、第1戦は細川智史騎手(愛知)、第2戦は岡達太郎騎手(高知)が制しています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ホイットニーS~ニックスゴーが逃げ切る

8月7日に米国ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ホイットニーS(4歳上、ダート1800m)は逃げたニックスゴー(牡5歳、父ペインター、B.コックス厩舎)がG1ブリーダーズフューチュリティを含む重賞5勝のマックスフィールドに4馬身半差をつけて快勝。これで今年1月のペガサスワールドC(ダート1800m)に続く4つ目のG1制覇となりました。

●スティーブン・アスムッセン調教師が北米最多勝記録を樹立

アメリカのスティーブン・アスムッセン調教師(55歳)が8月7日、サラトガ競馬場の第5レースをステラータップで優勝。デール・ベアード元調教師が持っていた北米最多勝記録を塗り替える9446勝目をマークしました。アスムッセン調教師は1986年に初勝利。これまで勝ち鞍順による北米リーディングには10度輝いており、2009年には年間の北米レコードとなる650勝を記録(賞金順でも3度首位)。カーリン、レイチェルアレクサンドラ、ガンランナーと3頭の米年度代表馬を管理したことで知られ、2016年にはアメリカ競馬の殿堂入りも果たしています。